

令和2年度 強化方針

1. 基本方針

- (1) 平成22年度版の「競技者育成プログラム」に則り、選手・指導者の育成を推進する。
- (2) 全ての選手カテゴリーにおいて恒常的に全日本大会等の上位入賞を目標とする。
- (3) 卓球は個人と個人の戦いではあるがチームとしての戦いを重視した取り組みとする。

2. 施策

- (1) 競技人口の拡大はもちろん、特に小学生選手層の発掘、育成に重点を置き取り組む。
- (2) 資質を持った将来性ある選手の発掘及び良い環境を整え重点的に育成強化にあたる。
- (3) 加盟卓球協会との連携をはかり卓球競技の普及、有望強化選手の発掘にあたる。

3. 目標

- (1) 国体5位以上の入賞および東北総体（ミニ国体）優勝を目標とする。
- (2) インターハイ、全国中学、全国ホープス・選抜大会等のベスト8入賞を目指す。

4. 組織

- (1) 「強化部」と「強化・育成委員会」の役割を明確化し強化事業にあたる。
- (2) 強化部は全体の強化に関する方向性、強化事業、予算などの立案、審議を行う。
- (3) 強化・育成委員会は専門委員会と連携を図り強化及び育成事業の運営を行う。

5. 強化の方向性

(1) 国体（ミニ国体）

① 国体選手選考会

- ・成年の部 2年6月7日(日) 石鳥谷体育館
- ・少年の部 2年7月5日(日) 一関市総合体育館

② 監督

- ・少年男子 野田 春輔
- ・少年女子 三浦 邦広
- ・成年男子 高橋 謙太
- ・成年女子 大川 貴士

(2) 高体連・中体連・委員会

- ① 各学校又は母体チーム単位での育成・強化が中心となるが、各委員会において必要に応じて強化の環境づくりを行う。
- ② 各委員会において全国で活躍できる有望選手の選抜を行うとともに集合合宿、強化練習会等を実施する。

6. 普及・育成の取り組み

- ① 各委員会と新設の「強化・育成委員会」と連携協力し、各種大会やオープンリーグなどで普及及び育成活動を行う。

7. 委員会組織

強化部

部長	小野豊	(会長)
副部長	柏山徹郎	(副会長)
〃	新沼興隆	(〃)
〃	小坂信彦	(〃)
委員長	高橋和博	(理事長)
事務局長	高橋栄喜	(副理事長)
委員	細川健治	(〃 ・高体連委員長)
〃	野田春輔	(常任理事・高体連)
〃	久保雄章	(副理事長・カデット委員長)
〃	山田保	(常任理事・ホープス委員長)

強化・育成委員会

委員長	高橋和博	(理事長)
事務局長	高橋栄喜	(事務局長)
委員	新沼大隆	(常任理事・中体連委員長)
〃	大川貴士	(〃 ・高体連)
〃	三浦邦広	(〃 ・ 〃)
〃	高橋謙太	(常任理事・ホープス事務局長)
〃	平船文	(洋野町)
〃	野田享平	(〃)
〃	柏山潤	(奥州市)
〃	伊東伸也	(社会人委員会)